
メリーポピンズ東武練馬ルーム

平成29年度

福祉サービス第三者評価結果報告書

1	<p>理念・方針（関連 カテゴリー1 リーダーシップと意思決定）</p> <p>事業者が大切にしている考え（事業者の理念・ビジョン・使命など）のうち、特に重要なもの（上位5つ程度）を簡潔に記述 （関連 カテゴリー1 リーダーシップと意思決定）</p> <p>1) 「にんげん力」のある子どもを育てる遊びの機会と環境をつくれます 2) 保護者のニーズをとらえ、保護者満足度の高いサービスを行います 3) 地域みんなが子どもを育てるコミュニティーづくりを目指します 4) 一人一人が提案、実行できるパワーのある保育者集団を目指します</p>
2	<p>期待する職員像（関連 カテゴリー5 職員と組織の能力向上）</p> <p>(1) 職員に求めている人材像や役割</p> <ul style="list-style-type: none"> ・子どもに一番近い保育者が子どもに必要な体験を提案し実行できる。 ・保育者自身が自己成長を意識する。 <p>(2) 職員に期待すること(職員に持って欲しい使命感)</p> <p>自分のクラスの子どもはもちろんのこと、保育園全体、保育園に通園していない在宅の子ども、日本全体の子どもたちに自分たちは何ができるかを常に意識する</p>

No.	特に良いと思う点	
1	タイトル	園では、職員の考えや提案力を大事にしています
	内容	園の運営や保育活動は法人本部がおおよそのしくみを決めて、園はそれに従っています。しかし、その方針が行き過ぎると職員の考える力や積極的な提案力が育ちませんので、法人本部では「次年度年間計画エントリー」「プロポーザルシート」を導入して、次年度の園行事や体験活動、遠足の行き先、地域交流などの提案を職員から募っています。また法人全体の合同研修会では、自分たちの自慢の保育活動を発表する機会を設けています。園でもそうした方針を活用し、職員の提案で遠足の行き先を変えたり、研修会では園の活動を発表したりしました。
2	タイトル	都会では経験できない自然の触れ合いを通して、子どもの世界を広げています
	内容	園は畑や田んぼ、小川などのない都会の住宅地に位置しています。園では保育理念「にんげん力。育てます。」のもと、保育目標の一つである「センス・オブ・ワンダー」を実現するために、自然の豊富な系列園に園バスで出かけ、畑や田んぼ、小川などの自然に触れ合う機会を作っています。週に2回は出かけ、野菜の栽培や羊の世話、カメやザリガニなどの小動物を捕獲し、園に持ち帰って育てています。こうした園の活動に、保護者からは「家庭ではできないことをたくさん経験させてくれる」と、感謝の言葉が多く寄せられています。
3	タイトル	子どもたちは野菜が育ち収穫するまでの過程をじっくり観察して自然の不思議を実感しています
	内容	食育活動は食育計画に従って行っています。乳児と幼児に分けて、子どもの発達状況に応じた計画を立てています。活動は週2回、園バスで系列園に行き、当園の畑で野菜の栽培活動を行います。子どもたちは土づくりから始め、種まき、水やりなどをして野菜の生長する過程を観察します。夏野菜はトマトやナス、きゅうり、ピーマンなどを、冬野菜は大根やはくさいなどを栽培しました。子どもたちは、野菜がどのように大きくなるのか目で見て驚き、収穫した野菜は園で調理し食べました。今まで苦手だった野菜を食べられるようになった子どももいます。
No.	さらなる改善が望まれる点	
1	タイトル	子どもの安全にかかわることは法人本部の指示を待つことなく園独自で判断し迅速に対応されてはいかがでしょう
	内容	今回の福祉サービス第三者評価の利用者調査には、「園バスの自損事故についての保護者への報告が遅い」「当日に知らせて欲しかった」など、保護者への伝達についての不満の声がいくつかありました。園では法人本部に報告し対処方法を仰いでいましたので、当日すぐには保護者に伝達できなかったようです。自損事故により子どもたちにけがはありませんでした。子どもの安全にかかわることはできるだけ早く対応する必要があります。案件によっては法人本部の指示を待つことなく、園独自で判断し迅速に対応されてはいかがでしょう。
2	タイトル	園の中での経営層の責務を明確にして、責任をもって園運営にかかわれるようにされてはいかがでしょう
	内容	今回の職員自己評価では「園の経営層は自らの役割と責任を職員に表明し、園をリードしている」という項目では「できている」と回答した職員は3割にとどまっています。系列園全園の園運営や保育活動は法人本部で基本方針を決め、園はその方針に従っています。また園で起きた事柄は、全て本部に報告することが義務づけられています。そうした本部と園との関係が、この結果に表れていると考えられます。利用者調査でも保護者から同様の意見が見られます。今後は園の経営層の権限や自主性を大切にして、責任を持って園運営にかかわれるよう期待します。
3	タイトル	小学校との交流をさらに深めて、子どもたちが小学校生活を楽しめるように事前の準備をされてはいかがでしょう
	内容	小学校就学については、近隣の保育園と連携して小学校訪問をしていますし、区の幼保小連絡会には5歳児担当の職員が出席し情報を収集しています。小学校就学は、子どもや保護者の一大関心事ですので、さらに連携を深めて、今の段階で何が必要なのか、きめ細かい情報のもと園としての対応を考えられてはいかがでしょう。小1プロブレムといわれるように、子どもたちが小学校生活に適応できない問題もあります。受け入れる小学校との調整もあるとは思いますが、交流する機会を増やされてはいかがでしょう。

事業者が特に力を入れている取り組み①		
評価項目	6-4-3	日常の保育を通して、子どもの生活や遊びが豊かに展開されるよう工夫している
タイトル①	近隣の人たちとあいさつを交わすうちにコミュニケーションが取れるようになりました	
内容①	園の保育目標「対人コミュニケーション」を子どもたちに身につけるために、地域交流に力を入れています。散歩で出かけたときは、なじみになった商店街の人々と「おはよう」「こんにちは」「さようなら」のあいさつを交わしています。また、交番の巡査さんや駅の駅員さんともあいさつを交わし、クリスマスときはプレゼントを届けました。また月1回の「銭湯の日」には、近隣のお風呂屋さんのお風呂に入ってお客さんと仲良く話をしています。初めは話ができなかったですが、回数を重ねるうちにコミュニケーションが取れるようになりました。	

事業者が特に力を入れている取り組み②		
評価項目	6-4-2	子どもの生活が安定するよう、子ども一人ひとりの生活のリズムに配慮した保育を行っている
タイトル②	園のその日の活動は保護者のスマートフォンで見られるようにしました	
内容②	系列園全体で、園のその日の活動を保護者に伝えるため、法人独自で開発した連絡帳機能を備えたアプリを導入し、保護者のスマートフォンに写真にコメントを添えて発信するようにしました。従来は子どものお迎えのときにスライドを見てもらっていましたが、スマートフォンを活用することで、家庭、職場、通勤途中であっても園の様子を見られるようにしました。まだ慣れていない保護者もいますが、使い方を覚えた保護者は便利に利用しています。そのため園では保護者への情報提供を欠かさないように努めています。	

事業者が特に力を入れている取り組み③		
評価項目	6-4-1	子ども一人ひとりの発達の状態に応じた保育を行っている
タイトル③	子どもの伸びる芽を摘まないように、課外活動も実施しています	
内容③	保護者の子どもにスイミングをさせたい、体操教室に通わせたい、英語に触れさせたいといった要望に応えるために、園では外部の教室と提携し、課外活動として保育時間中にこうした活動に参加できるようにしています。スイミングと体操については、外部の教室までは園バスで子どもたちを送迎しています。訪問調査日も、3～5歳児クラスの子どものうち3分の2がスイミングスクールに通っていました。課外活動には参加せず園に残る子どももいますので、保育活動に特別な工夫が必要ですが、子どもの伸びる芽を摘み取らないようにしています。	

I 組織マネジメント項目(カテゴリー1～5、7、8)

No.	共通評価項目	
	カテゴリー1	
1	リーダーシップと意思決定	
	サブカテゴリー1(1-1)	
	事業所が目指していることの実現に向けて一丸となっている	サブカテゴリー毎の 標準項目実施状況 9/9
	評価項目1 事業所が目指していること(理念、基本方針)を明確化・周知している 評点(〇〇〇〇)	
	評価	標準項目
	● あり ○ なし	1. 事業所が目指していること(理念・ビジョン、基本方針など)を明示している <input type="radio"/> 非該当
	● あり ○ なし	2. 事業所が目指していること(理念・ビジョン、基本方針など)について、職員の理解が深まるような取り組みを行っている <input type="radio"/> 非該当
	● あり ○ なし	3. 事業所が目指していること(理念・ビジョン、基本方針など)について、利用者本人や家族等の理解が深まるような取り組みを行っている <input type="radio"/> 非該当
	● あり ○ なし	4. 重要な意思決定や判断に迷ったときに、事業所が目指していること(理念・ビジョン、基本方針など)を思い起こすことができる取り組みを行っている(会議中に確認できるなど) <input type="radio"/> 非該当
	評価項目2 経営層(運営管理者含む)は自らの役割と責任を職員に対して表明し、事業所をリードしている 評点(〇〇)	
	評価	標準項目
	● あり ○ なし	1. 経営層は、自らの役割と責任を職員に伝えている <input type="radio"/> 非該当
	● あり ○ なし	2. 経営層は、自らの役割と責任に基づいて行動している <input type="radio"/> 非該当
	評価項目3 重要な案件について、経営層(運営管理者含む)は実情を踏まえて意思決定し、その内容を関係者に周知している 評点(〇〇〇)	
	評価	標準項目
	● あり ○ なし	1. 重要な案件を検討し、決定する手順があらかじめ決まっている <input type="radio"/> 非該当
	● あり ○ なし	2. 重要な意思決定に関し、その内容と決定経緯について職員に周知している <input type="radio"/> 非該当
	● あり ○ なし	3. 利用者等に対し、重要な案件に関する決定事項について、必要に応じてその内容と決定経緯を伝えている <input type="radio"/> 非該当

カテゴリー1の講評

保育理念や保育目標は園の基本姿勢ですので、職員や保護者に周知しています

保育理念は「にんげん力。育てます。」、保育目標は「センス・オブ・ワンダー」と「人対人コミュニケーション」です。こうした理念や目標は、入園のしおり、ホームページに掲載し、園の玄関や保育室にも掲示しています。理念や目標は園の基本姿勢ですので、職員の業務用マニュアル「保育品質マニュアル」に掲載し職員がいつでも確認できるようにしています。新人職員は法人本部の新人研修会で説明を受け、また在職の職員は3月の園会議(職員会議)や法人の合同研修会で再確認します。保護者は入園説明会で施設長から説明を受け理解します。

施設長は園の最終責任者として園を統括し、主任は施設長の補佐を務めています

園の経営層は施設長と主任です。施設長は園の最終責任者として、園の全ての業務を統括し、主任は施設長の補佐を務めるとともに現場保育の管理と職員の指導監督を担っています。経営層や各職員の職務内容は、来年度の職員の担当業務を発表する3月の園会議で施設長から説明を受けて確認しています。また施設長は、法人の施設長会議や区の私立保育園園長会、社会福祉法人施設等連絡会など外部の会合に園を代表して出席しています。区役所への報告、連絡も施設長が担っています。

案件によって決定手順が異なります

法人全体にかかわる案件は本部の経営会議で審議決定し、理事会の承認を受けて決定します。系列園全園の職員の処遇改善やスマートフォンで保護者に連絡するためのアプリの導入、社内報のデジタル化などはこうした手順で決定しました。また、園内の保育業務や園行事などは、係の担当者が計画書を作成し、園会議にはかって決定します。決定事項は必ず本部に報告し承認を受けています。決定事項の保護者への周知は、園だよりや文書掲示、保護者のスマートフォンへの配信、お知らせの配付などで行っています。

カテゴリ2		
2	経営における社会的責任	
サブカテゴリ1(2-1)		
社会人・福祉サービス事業者として守るべきことを明確にし、その達成に取り組んでいる		サブカテゴリ毎の標準項目実施状況 4/4
評価項目1 社会人・福祉サービスに従事する者として守るべき法・規範・倫理などを周知している 評点(〇〇)		
評価	標準項目	
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	1. 福祉サービスに従事する者として、守るべき法・規範・倫理(個人の尊厳)などを明示している	<input type="radio"/> 非該当
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	2. 全職員に対して、守るべき法・規範・倫理(個人の尊厳)などの理解が深まるように取り組んでいる	<input type="radio"/> 非該当
評価項目2 第三者による評価の結果公表、情報開示などにより、地域社会に対し、透明性の高い組織となっている 評点(〇〇)		
評価	標準項目	
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	1. 第三者による評価の結果公表、情報開示など外部の導入を図り、開かれた組織となるように取り組んでいる	<input type="radio"/> 非該当
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	2. 透明性を高めるために、地域の人々の目にふれやすい方法(事業者便り・会報など)で地域社会に事業所に関する情報を開示している	<input type="radio"/> 非該当
サブカテゴリ2(2-2)		
地域の福祉に役立つ取り組みを行っている		サブカテゴリ毎の標準項目実施状況 7/7
評価項目1 事業所の機能や福祉の専門性をいかした取り組みがある 評点(〇〇)		
評価	標準項目	
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	1. 事業所の機能や専門性は、利用者に支障のない範囲で地域の人に還元している(施設・備品等の開放、個別相談など)	<input type="radio"/> 非該当
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	2. 地域の人や関係機関を対象に、事業所の機能や専門性をいかした企画・啓発活動(研修会の開催、講師派遣など)を行っている	<input type="radio"/> 非該当
評価項目2 ボランティア受け入れに関する基本姿勢を明確にし、体制を確立している 評点(〇〇〇)		
評価	標準項目	
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	1. ボランティアの受け入れに対する基本姿勢を明示している	<input type="radio"/> 非該当
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	2. ボランティアの受け入れ体制を整備している(担当者の配置、手引き書の作成など)	<input type="radio"/> 非該当
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	3. ボランティアに利用者のプライバシーの尊重やその他の留意事項などを伝えている	<input type="radio"/> 非該当
評価項目3 地域の関係機関との連携を図っている 評点(〇〇)		
評価	標準項目	
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	1. 地域の関係機関のネットワーク(事業者連絡会など)に参画している	<input type="radio"/> 非該当
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	2. 地域ネットワーク内での共通課題について、協働して取り組めるような体制を整えている	<input type="radio"/> 非該当

カテゴリー2の講評

保育に携わる者としての心得は、業務マニュアルに明示し職員に周知しています

保育に携わる者としての心得は、職員の業務マニュアル「保育品質マニュアル」に児童と保護者の人権ためのガイドラインとして明示されています。また社内報の創園ブログ、就業規則にも明示しています。職員は、次年度に向けて行う3月の園会議で「保育品質マニュアル」をもとに確認し、あわせて個人情報保護についても確認しています。園の事業の透明性を図るため、専門機関による福祉サービス第三者評価を受審しています。結果報告書は玄関に置いて保護者に開示し、ホームページにも報告書を掲載しています。

園の情報はホームページや園だより、入園のしおりで地域に発信しています

園の情報はホームページで広く地域に発信しています。また園の掲示板に園だよりを掲示し、園に問い合わせにいられた方には入園のしおりや園だよりを配付し理解を深めてもらっています。園では在宅で子育て中の親子を対象に、青空保育や保育体験、出産を迎える親の体験学習を開催しており、青空保育に参加された保護者にも入園のしおりを配付しています。また急な用ができて子どもの面倒が一時的に見られなくなった保護者のために一時保育を行って子どもを預かっています。

保育園としての課題を解決するため区の関係機関とネットワークを組んでいます

ボランティアは地域の小・中学生の保育体験として受け入れています。受け入れにあたっては、園での守るべき事柄を説明しています。地域の関係機関とのネットワークについては、地域の保育園が共通して抱える課題を解決するため区の私立保育園園長会に参加しています。また区内の保育園や高齢者施設、障がい者などの福祉施設が結成した社会福祉法人施設等連絡会にも参加しています。小学校就学については、近隣の保育園と連携して小学校に訪問しています。

カテゴリ3		
3	利用者意向や地域・事業環境の把握と活用	
サブカテゴリ1(3-1)		
利用者意向や地域・事業環境に関する情報を収集・活用している		サブカテゴリ毎の 標準項目実施状況 8/8
評価項目1 利用者一人ひとりの意向(意見・要望・苦情)を多様な方法で把握し、迅速に対応している(苦情解決制度を含む) 評点(〇〇)		
評価	標準項目	
● あり ○ なし	1. 苦情解決制度を利用できることや事業者以外の相談先を遠慮なく利用できることを、利用者に伝えている	○ 非該当
● あり ○ なし	2. 利用者一人ひとりの意見・要望・苦情に対する解決に取り組んでいる	○ 非該当
評価項目2 利用者意向の集約・分析とサービス向上への活用に取り組んでいる 評点(〇〇〇)		
評価	標準項目	
● あり ○ なし	1. 利用者アンケートなど、事業所側からの働きかけにより利用者の意向を把握することに取り組んでいる	○ 非該当
● あり ○ なし	2. 事業者が把握している利用者の意向を取りまとめ、利用者から見たサービスの現状・問題を把握している	○ 非該当
● あり ○ なし	3. 利用者の意向をサービス向上につなげることに取り組んでいる	○ 非該当
評価項目3 地域・事業環境に関する情報を収集し、状況を把握・分析している 評点(〇〇〇)		
評価	標準項目	
● あり ○ なし	1. 地域の福祉ニーズの収集(地域での聞き取り、地域懇談会など)に取り組んでいる	○ 非該当
● あり ○ なし	2. 福祉事業全体の動向(行政や業界などの動き)の収集に取り組んでいる	○ 非該当
● あり ○ なし	3. 事業所としての今後のあり方の参考になるように、地域の福祉ニーズや福祉事業全体の動向を整理・分析している	○ 非該当
カテゴリ3の講評		
保護者からの苦情はさまざまな方法で収集しています 園の苦情解決制度は、入園のしおりやホームページに明記しています。しおりには、電話やメール、連絡帳・書面、面談、利用者アンケート、第三者委員など、さまざまな方法で苦情を表明できることを明示しています。玄関には、苦情解決のしくみの文書を掲示し、保護者が苦情や要望を投函する箱を設置しています。園に直接苦情を表明しにくい保護者には、第三者委員を4名紹介しています。こうした園の苦情解決制度は入園時に保護者に説明していますが、今回の利用者調査結果では保護者への周知度は若干低く、今後、周知度を高められることを望みます。		
保護者の苦情には、法人本部に報告のうえ法人本部の対応を待つて返事をしています 年に1回、8月に利用者アンケートを行っています。アンケートでは、今年度導入した保護者に園の情報を伝えるスマートフォン用アプリの不備について苦情が出ていました。また延長保育料の変更については保護者から直接口頭で苦情を受けました。これらの件については、本部と相談のうえ対応しました。しかし今回の利用者調査では、園バスの自損事故についての説明が遅いという苦情が出ていました。園では、全て本部に報告し対応を待つてから保護者に返事をしてしていますが、今後は迅速に対応する方法を考えられるとよいでしょう。		
地域の保育事業の情報は、区の職員から報告を受けて把握しています 地域の保育事業については、区の私立保育園園長会に出席した際に区の職員から報告を受けて把握しています。今年度は区内の新規開設園が6園ありますが、待機児童数はまだ多くいるようです。それだけ就労を望む保護者が多くいるとのこと。保育事業全体の動向についての情報は本部で収集し、社内報を通して当園も把握しています。また保育所保育指針の改訂については、法人の園長会や区の私立保育園園長会で、また研修会に参加して情報を収集しています。職員の処遇改善についても本部から情報を得ています。		

カテゴリ4		
4	計画の策定と着実な実行	
サブカテゴリ1(4-1)		
実践的な課題・計画策定に取り組んでいる		サブカテゴリ毎の標準項目実施状況 11/11
評価項目1 取り組み期間に応じた課題・計画を策定している		
評点(000)		
評価	標準項目	
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	1. 理念・ビジョンの実現に向けた中・長期計画を策定している	<input type="radio"/> 非該当
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	2. 年度単位の計画を策定している	<input type="radio"/> 非該当
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	3. 短期の活動についても、計画的(担当者・スケジュールの設定など)に取り組んでいる	<input type="radio"/> 非該当
評価項目2 多角的な視点から課題を把握し、計画を策定している		
評点(0000)		
評価	標準項目	
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	1. 課題の明確化、計画策定の時期や手順があらかじめ決まっている	<input type="radio"/> 非該当
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	2. 課題の明確化、計画の策定にあたり、現場の意向を反映できるようにしている	<input type="radio"/> 非該当
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	3. 計画は、サービスの現状(利用者意向、地域の福祉ニーズや事業環境など)を踏まえて策定している	<input type="radio"/> 非該当
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	4. 計画は、想定されるリスク(利用者への影響、職員への業務負担、必要経費の増大など)を踏まえて策定している	<input type="radio"/> 非該当
評価項目3 着実な計画の実行に取り組んでいる		
評点(0000)		
評価	標準項目	
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	1. 計画推進の方法(体制、職員の役割や活動内容など)を明示している	<input type="radio"/> 非該当
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	2. 計画推進にあたり、より高い成果が得られるように事業所内外の先進事例・失敗事例を参考にすることの取り組みを行っている	<input type="radio"/> 非該当
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	3. 計画推進にあたり、目指す目標と達成度合いを測る指標を明示している	<input type="radio"/> 非該当
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	4. 計画推進にあたり、進捗状況を確認し(半期・月単位など)、必要に応じて見直しをしながら取り組んでいる	<input type="radio"/> 非該当

サブカテゴリ-2(4-2)

利用者の安全の確保・向上に計画的に取り組んでいる

サブカテゴリ毎の
標準項目実施状況

4/4

評価項目1

利用者の安全の確保・向上に計画的に取り組んでいる

評点(〇〇〇〇)

評価

標準項目

あり なし

1. 利用者の安全の確保・向上を図るため、関係機関との連携や事業所内の役割分担を明示している

非該当

あり なし

2. 事故、感染症、侵入、災害などの事例や情報を組織として収集し、予防対策を策定している

非該当

あり なし

3. 事故、感染症、侵入、災害などの発生時でもサービス提供が継続できるよう、職員、利用者、関係機関などに具体的な活動内容が伝わっている

非該当

あり なし

4. 事故、感染症、侵入などの被害が発生したときは、要因を分析し、再発防止に取り組んでいる

非該当

カテゴリ-4の講評

取り組む期間によって、それぞれの計画を立てています

平成25年度から29年度までの中・長期計画を策定していますが、概要版ですので、具体的な計画としてさらに練り上げる必要があります。また時系列にして策定するよう望みます。年度単位の計画は、年間事業計画として策定しています。保育内容の充実や地域子育て支援事業、職員の育成、今年度施設長が力を入れて取り組みたい内容など、項目をたてて作成しています。短期の活動は、月々の誕生会や避難訓練、また運動会や生活発表会などの園行事など、それぞれについて係の担当者が計画書を作成し、当日までのスケジュールを立てています。

保護者の望む活動を課外活動として取り入れています

年間事業計画は12月から1月には策定に入り、3月には完成させて法人本部に報告します。行事の計画は実施の2か月前までの提出を義務付けています。また次年度の行事については、毎年1月に職員に提案する機会を設けています。今年度は職員の提案で遠足の行き先を変更しました。また保育内容については、プールや体操など保護者の望む活動を3~5歳児の希望者に限って課外活動として取り入れています。これらの活動は外部業者と提携し、園バスで子どもたちを送迎しています。英語は希望者を対象に園内で実施しています。

子どもの安全確保を図るため、園内体制を固め関係機関の協力を仰いでいます

子どもの安全を確保するため園内体制を固め、園外の関係機関の協力を仰いでいます。園内体制としては毎月の避難訓練や不審者対応訓練、消火・通報訓練を行っています。また安全対策マニュアルや非常時に対応するフローチャートも用意して、非常時に備えています。事故が発生したときは事故記録簿に記録し再発防止の取り組みに生かしています。非常時に保護者と連絡を取り合うメールも導入しています。関係機関との協力体制としては、消防署には避難訓練や消火・通報訓練などで連携し、区役所からは区内の事故や感染症の発生の情報を得ています。

カテゴリ5		
5	職員と組織の能力向上	
サブカテゴリ1(5-1)		
事業所が目指している経営・サービスを実現する人材の確保・育成に取り組んでいる		サブカテゴリ毎の標準項目実施状況 8/8
評価項目1 事業所にとって必要な人材構成にしている		評点(000)
評価	標準項目	
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	1. 事業所の人事制度に関する方針(人材像、職員育成・評価の考え方)を明示している	<input type="radio"/> 非該当
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	2. 事業所が必要とする人材を踏まえた採用を行っている	<input type="radio"/> 非該当
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	3. 適材適所の人員配置に取り組んでいる	<input type="radio"/> 非該当
評価項目2 職員の質の向上に取り組んでいる		評点(00000)
評価	標準項目	
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	1. 職員一人ひとりの能力向上に関する希望を把握している	<input type="radio"/> 非該当
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	2. 事業所の人材育成計画と職員一人ひとりの意向に基づき、個人別の育成(研修)計画を策定している	<input type="radio"/> 非該当
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	3. 個人別の育成(研修)計画は、職員の技術水準、知識、専門資格の習得(取得)などの視点を入れて策定している	<input type="radio"/> 非該当
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	4. 職員一人ひとりの個人別の育成(研修)計画に基づいて、必要な支援をしている	<input type="radio"/> 非該当
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	5. 職員の研修成果を確認し(研修時・研修直後・研修数ヶ月後など)、研修が本人の育成に役立ったかを確認している	<input type="radio"/> 非該当
サブカテゴリ2(5-2)		
職員一人ひとりと組織力の発揮に取り組んでいる		サブカテゴリ毎の標準項目実施状況 7/7
評価項目1 職員一人ひとりの主体的な判断・行動と組織としての学びに取り組んでいる		評点(000)
評価	標準項目	
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	1. 職員の判断で実施可能な範囲と、それを超えた場合の対応方法を明示している	<input type="radio"/> 非該当
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	2. 職員一人ひとりの日頃の気づきや工夫について、互いに学ぶことに取り組んでいる	<input type="radio"/> 非該当
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	3. 職員一人ひとりの研修成果を、レポートや発表等で共有化に取り組んでいる	<input type="radio"/> 非該当

評価項目2 職員のやる気向上に取り組んでいる		評点(〇〇〇〇)
評価	標準項目	
● あり ○ なし	1. 事業所の特性を踏まえ、職員の育成・評価・報酬(賃金、昇進・昇格、賞賛など)が連動した人材マネジメントを行っている	○ 非該当
● あり ○ なし	2. 就業状況(勤務時間や休暇取得、疲労・ストレスなど)を把握し、改善に取り組んでいる	○ 非該当
● あり ○ なし	3. 職員の意識を把握し、やる気と働きがいの向上に取り組んでいる	○ 非該当
● あり ○ なし	4. 福利厚生制度の充実に取り組んでいる	○ 非該当
カテゴリ-5の講評		
<p>人材の採用は法人本部が主導して行っています</p> <p>園が求める人材像は業務用マニュアル「保育品質マニュアル」に示されています。職員の評価基準は「人事評価シート」に示されています。人材採用については、施設長が職員に面談し、来年度も継続して勤務を望むか確認します。退職の希望が出れば職員体制に欠員が生じますので、本部に人員補充の申請をします。採用は本部が主導して行っています。採用試験は面接ですが、応募者の適性を判断して採用します。人員配置については、同じ職員が継続して子どもの保育にあたるようにしています。</p> <p>職員の研修受講の希望について、法人本部でアンケートを取っています</p> <p>職員の能力向上に関する希望は、本部が職員に研修受講アンケートを行い、職員に研修受講の希望を聞いています。研修は本部や区、外部の有料の研修などがありますが、その職員に必要な研修であれば受講を認めています。また系列園の園内研修で当園の職員も参加できるものには参加するようにしています。来年度の保育所保育指針の改訂で保育がどのように変わるのか、研修会などに参加して学びました。外部の有料の研修については、本部が費用と交通費を負担しています。研修受講後は報告書を作成し園内報告を行い、本部にも報告書を送っています。</p> <p>人事評価は年に2回行い、賞与に反映させています</p> <p>職員の人事評価は「人事評価シート」に従って年2回、夏と冬に行っています。人事評価の結果は賞与に反映させています。勤務シフト表は施設長が作成し、職員から次月の有給休暇の申請があればシフト表に反映させています。職員の体調や精神面の管理は施設長が行い、何かあれば職員の相談に応じ常にベストな状態で勤務できるようにしています。福利厚生制度は民間の福利厚生倶楽部に所属し、各種特典が受けられるようにしています。また、子育て中の職員には、系列園において格安料金で子どもを預かる託児サービス制度を設けています。</p>		

7 情報の保護・共有		
サブカテゴリ1(7-1)		
情報の保護・共有に取り組んでいる	サブカテゴリ毎の標準項目実施状況	7/7
評価項目1 事業所が蓄積している経営に関する情報の保護・共有に取り組んでいる		評点(〇〇〇)
評価	標準項目	
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	1. 情報の重要性や機密性を踏まえ、アクセス権限を設定している	<input type="radio"/> 非該当
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	2. 収集した情報は、必要な人が必要ときに活用できるように整理・保管している	<input type="radio"/> 非該当
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	3. 保管している情報の状況を把握し、使いやすいように更新している	<input type="radio"/> 非該当
評価項目2 個人情報、「個人情報保護法」の趣旨を踏まえて保護・共有している		評点(〇〇〇〇)
評価	標準項目	
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	1. 事業所で扱っている個人情報の利用目的を明示している	<input type="radio"/> 非該当
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	2. 個人情報の保護に関する規定を明示している	<input type="radio"/> 非該当
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	3. 開示請求に対する対応方法を明示している	<input type="radio"/> 非該当
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	4. 個人情報の保護について職員(実習生やボランティアを含む)が理解し行動できるための取り組みを行っている	<input type="radio"/> 非該当
カテゴリ7の講評		
<p>パソコンにパスワードを設定して個人情報を管理しています</p> <p>園のパソコンは全部で4台です。子どもや保護者の個人情報の入った機密性の高い情報は、施設長専用のパソコンにパスワードを設定し管理しています。残りの3台は職員が共用しています。「児童票」は事務室の鍵のかかるキャビネットで保管しています。園には指導計画、マニュアル、各種報告書などの情報がありますが、必要な職員が必要ときに活用できるように種類別に管理しています。職員にはスマートフォンを配付し、法人全体で情報の共有を図っています。</p> <p>子どもの名前や写真の利用については、保護者に説明し承諾を得ています</p> <p>法人ではプライバシーポリシーを定め個人情報を管理しています。園では子どもの名前や写真を園内掲示やホームページ、園だよりなどで利用していますが、入園時に保護者に説明し、利用することへの承諾書を得ています。また、園で知り得た情報の守秘義務については、職員や実習生、ボランティアの入職時に誓約書の提出を義務付けています。なお、退職後も継続して守秘義務を守るように指導しています。</p>		

カテゴリ8

8 カテゴリ1～7に関する活動成果

サブカテゴリ1(8-1)

前年度と比べ、事業所の方向性の明確化や関係者への周知、地域・社会への責任の面で向上している

評価項目1

前年度(比較困難な場合は可能な期間で)と比べて、以下のカテゴリで評価される部分について、改善を行い成果が上がっている
 ・カテゴリ1:「リーダーシップと意思決定」
 ・カテゴリ2:「経営における社会的責任」
 ・カテゴリ4:「計画の策定と着実な実行」

- 改善に向けた計画的な取り組みが行われており、成果として現れている
- 改善に向けた計画的な取り組みが行われているが、成果としては現れていない
- 改善に向けた計画的な取り組みが行われていない

改善の成果

保護者への日々の保育の伝達や緊急時の連絡をスマートフォンで行えるようにしました

保護者への日々の保育の伝達や緊急時の保護者との連絡に、今年度から法人独自のアプリを導入して、スマートフォンで行えるようにしました。保護者は職場でも家庭でも通勤途中でも、保育の活動内容を写真で確認できるようになりました。導入直後の混乱は徐々に収まり、問題も解消して、保護者からは、便利になったという感想を得ています。

サブカテゴリ2(8-2)

前年度と比べ、職員と組織の能力の面で向上している

評価項目1

前年度(比較困難な場合は可能な期間で)と比べて、以下のカテゴリで評価される部分について、改善を行い成果が上がっている
 ・カテゴリ5:「職員と組織の能力向上」

- 改善に向けた計画的な取り組みが行われており、成果として現れている
- 改善に向けた計画的な取り組みが行われているが、成果としては現れていない
- 改善に向けた計画的な取り組みが行われていない

改善の成果

法人全体の合同研修会で、職員間の業務伝達について発表をしました

今年度の法人全体の合同研修会では、園で力を入れている職員間の業務伝達についての発表をしました。職員間の業務伝達は保育園では必須の事項ですが、伝達した側、伝達を受けた側の意識の差で伝達が正確に行われていない場合があります。そこで園では日ごろから「一往復半」を合言葉にして、必ず確認し合っています。そうした園の取り組みを研修会で発表しました。全職員が役割を決めて、3班に分かれて発表しました。系列園全園の職員の前で発表したことにより、職員は自信を深めています。
 国や都の保育士の職員処遇改善策により職員の報酬が増えたため、職員のモチベーションが上がりました。
 今年度から毎週、月、水、金曜日に園全体で昼礼を行うようにしました。昼礼は職員の情報共有のために設けていますが、同時に職員のエピソードも発表する場になりました。今年度は子どもが描いた絵の見方についてのエピソードを発表しました。これにより絵画指導の際の技術が向上しました。

サブカテゴリ3(8-3)

前年度と比べ、福祉サービス提供プロセスや情報保護・共有の面において向上している

評価項目1

前年度(比較困難な場合は可能な期間で)と比べて、以下のカテゴリで評価される部分について、改善を行い成果が上がっている
 ・カテゴリ6:「サービス提供のプロセス」
 ・カテゴリ7:「情報の保護・共有」

- 改善に向けた計画的な取り組みが行われており、成果として現れている
- 改善に向けた計画的な取り組みが行われているが、成果としては現れていない
- 改善に向けた計画的な取り組みが行われていない

改善の成果

コーナー保育の遊具や絵本を増やしました

子どもたちの遊びを豊かにするためにコーナー保育の遊具や絵本を増やしました。おもまごとの遊具に鏡をつけたり、テーブルを新たに設置したりして子どもたちの遊びの幅が広がるようにしました。また、絵本は貸し出しを行っているため、種類を増やして、さまざまな子どもたちの興味に応えられるようにしました。
 生活発表会は従来、地域の公共施設で行っていましたが、会場が狭いので今年度は近隣の小学校の体育館で行いました。保護者からは、良くなった、来年も同じ体育館で開催してほしいという感想が出ています。

サブカテゴリ4(8-4)

事業所の財政等において向上している

評価項目1

財政状態や収支バランスの改善へ向けた計画的かつ主体的な取り組みにより成果が上がっている

- 改善に向けた計画的な取り組みが行われており、成果として現れている
- 改善に向けた計画的な取り組みが行われているが、成果としては現れていない
- 改善に向けた計画的な取り組みが行われていない

改善の成果

年間の予算内で園運営を行っています

年間の予算はあらかじめ法人で決められていますので、その範囲内で予算執行しています。また、子育て支援事業については、取り組む事業を減らすことなく予定通り実施し、都の地域子育て支援推進加算を受けていますので、収支のバランスはとれています。

サブカテゴリ5(8-5)

前年度と比べ、利用者満足や利用者意向の把握等の面で向上している

評価項目1

前年度(比較困難な場合は可能な期間で)と比べて、利用者満足や以下のカテゴリで評価される部分において改善傾向を示している
・カテゴリ3:「利用者意向や地域・事業環境などの把握と活用」

- 改善に向けた計画的な取り組みが行われており、成果として現れている
- 改善に向けた計画的な取り組みが行われているが、成果としては現れていない
- 改善に向けた計画的な取り組みが行われていない

改善の成果

個人面談は期間を決めたところ、参加数が増えました

個人面談は年間を通して随時行っていましたが、年間2、3件の面談件数にとどまっていた。そこで、今年度は個人面談月間を決めて保護者に告知したところ、20件以上の応募がありました。
保護者から今年度は子どもたちといっしょに活動してみたいとの要望を受けました。そこで「どろんこサポーターズ」と名づけた保護者任意の団体を結成し、もちつき大会やハロウィンのイベントを開催しました。保護者のほとんどが参加し、良かった、楽しかったという感想が寄せられました。

Ⅱ サービス提供のプロセス項目(カテゴリ6-1～3、6-5～6)

No.	共通評価項目	
	サブカテゴリ1	
1	サービス情報の提供	サブカテゴリ毎の標準項目実施状況 4/4
	評価項目1 利用希望者等に対してサービスの情報を提供している <p style="text-align: right;">評点(〇〇〇〇)</p>	
	評価	標準項目
	<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	1. 利用希望者等が入手できる媒体で、事業所の情報を提供している <p style="text-align: right;"><input type="radio"/> 非該当</p>
	<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	2. 利用希望者等の特性を考慮し、提供する情報の表記や内容をわかりやすいものになっている <p style="text-align: right;"><input type="radio"/> 非該当</p>
	<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	3. 事業所の情報を、行政や関係機関等に提供している <p style="text-align: right;"><input type="radio"/> 非該当</p>
	<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	4. 利用希望者等の問い合わせや見学の要望があった場合には、個別の状況に応じて対応している <p style="text-align: right;"><input type="radio"/> 非該当</p>
	サブカテゴリ1の講評	
	<p>ホームページで広く園を紹介して、資料を送付するなどの配慮もしています</p> <p>法人のホームページでは、保育理念にある「にんげん力」を身につけるために必要な遊びや野外体験を提案実践し、「自分で考えて行動する力を育みます」と明示しています。そして、当園の紹介がされています。都市型の保育園ですが、自然の中にたくさん足を運んだり、地域での人と人とのコミュニケーションを大切にされた保育目標が掲げられています。駅と接近しているため、園の外の掲示板に園の活動内容を掲示し、多くの方の目に留まりやすくしています。メールや電話での資料請求にも応じ、パンフレットや園だよりの送付もしています。</p> <p>青空保育や保育体験などの活動では実際の保育に触れながら園情報を得ることができます</p> <p>月1回地域の子育て家庭の親子と公園で遊ぶ青空保育や、出産をこれから迎える保護者に保育体験をしてもらうなどの子育て支援活動を行い、実際の保育に触れることができます。職員による紙芝居の読み聞かせや子どもとのかかわりを見てもらったりすることで園の活動をわかりやすく紹介しています。特に入園のしおりでは、当園の保育の3つのこだわりである、年間を通して裸足で過ごすことで足指の力を育てることや、異年齢保育を通して自分で判断しリーダーシップを育てること、「ダメ」は言わず、まずは体験することを紹介しています。</p> <p>利用希望者には、柔軟な対応で園を案内し、体験保育や一時保育の紹介もしています</p> <p>利用希望者で施設の見学を希望する方には、希望日時に添えるよう調整をします。園では子どもの様子を見もらうために、戸外遊びの前の9時からの時間帯を提案しています。その時間はあくまで目安であり見学者には柔軟に対応しています。見学時は主に施設長か主任が園のしおりや園だよりを基に案内し、見学者にはアンケートに感想などを記載してもらっています。「こんなに外遊びに連れて行ってもらえるのですね」「メニューが豊富」などの感想が多く書かれています。また、体験保育や一時保育も体験できることを紹介しています。</p>	
	サブカテゴリ2	
2	サービスの開始・終了時の対応	サブカテゴリ毎の標準項目実施状況 6/6
	評価項目1 サービスの開始にあたり保護者に説明し、同意を得ている <p style="text-align: right;">評点(〇〇〇)</p>	
	評価	標準項目
	<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	1. サービスの開始にあたり、基本的ルール、重要事項等を保護者の状況に応じて説明している <p style="text-align: right;"><input type="radio"/> 非該当</p>
	<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	2. サービス内容について、保護者の同意を得るようにしている <p style="text-align: right;"><input type="radio"/> 非該当</p>
	<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	3. サービスに関する説明の際に、保護者の意向を確認し、記録化している <p style="text-align: right;"><input type="radio"/> 非該当</p>

評価項目2 サービスの開始及び終了の際に、環境変化に対応できるよう支援を行っている		評点(〇〇〇)
評価	標準項目	
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	1. サービス開始時に、子どもの保育に必要な個別事情や要望を決められた書式に記録し、把握している	<input type="radio"/> 非該当
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	2. 利用開始直後には、子どもの不安やストレスが軽減されるように支援を行っている	<input type="radio"/> 非該当
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	3. サービスの終了時には、子どもや保護者の不安を軽減し、支援の継続性に配慮した支援を行っている	<input type="radio"/> 非該当
サブカテゴリー2の講評		
<p>入園説明会では園の説明を、個別面談では保護者が子どもや家庭状況を園に伝えます</p> <p>入園決定後、入園説明会と個別面談を行っています。都合が悪い場合は、別日の対応も可能となっています。全体の説明会では持ち物の説明や、施設長から園の特色などの説明があります。個別面談は、保護者が記載した入園申込書をもとに行われ、家庭の状況、子どもの発育、健康の確認をして、0歳児は授乳離乳食・排泄・睡眠などの子どもの詳しい状況を共有します。重要事項説明書と園の規則を職員が読み上げ、保護者といっしょに確認をして、保護者から同意の署名を得ています。</p> <p>保育内容に対する保護者の意向を細かく確認して、職員間で情報共有しています</p> <p>園の方針をより保護者に理解してもらう取り組みとして、保護者に説明した保育方針、例えば、戸外遊び、登園時間の協力、裸足保育の実施、雑巾がけ、生き物の世話、畑仕事などについて、用紙を用いて保護者に意向の確認をしています。このほか、慣れ保育への要望、トイレトレーニングの子どもの様子、細かなことでも気になることなどを記載するようになっており、保護者の意向を大切にしています。それらは入園後、職員間で情報共有され、子ども個別の状況に合った保育に生かしています。</p> <p>慣れ保育をていねいに行い、新入園児や保護者に安心してもらっています</p> <p>慣れ保育を実施して、少しずつ保育時間を延ばしています。慣れ保育についてあらかじめ保護者の意向を聞いていますが、実際の子どもの状態を見て進めていくことを園は大切にしています。また、保護者の就労状況にも柔軟に対応しています。新入園児の状況は全職員で把握し、連携しながら子どもの心地よい状況を探り、きょうだいがいる場合はいっしょに過ごす機会を設けています。子どもの気持ちに寄り添い、スキンシップを十分にしていきます。保護者には、その日の様子を詳しく話して安心をもらうことで、子どもの安定につなげていきます。</p>		
サブカテゴリー3		
3	個別状況に応じた計画策定・記録	サブカテゴリー毎の標準項目実施状況 12/12
評価項目1 定められた手順に従ってアセスメント(情報収集、分析および課題設定)を行い、子どもの課題を個別のサービス場面ごとに明示している		評点(〇〇〇)
評価	標準項目	
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	1. 子どもの心身状況や生活状況等を、組織が定めた統一した様式によって記録し把握している	<input type="radio"/> 非該当
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	2. 子どもや保護者のニーズや課題を明示する手続きを定め、記録している	<input type="radio"/> 非該当
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	3. アセスメントの定期的見直しの時期と手順を定めている	<input type="radio"/> 非該当

評価項目2
 保育課程や子どもの様子を踏まえた指導計画を作成している 評点(〇〇〇〇〇)

評価	標準項目	
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	1. 指導計画は、保育課程を踏まえて、養護(生命の保持・情緒の安定)と教育(健康・人間関係・環境・言葉・表現)の各領域を考慮して作成している	<input type="radio"/> 非該当
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	2. 指導計画は、子どもの実態や子どもを取り巻く状況の変化に即して、作成、見直しをしている	<input type="radio"/> 非該当
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	3. 個別的な計画が必要な子どもに対し、子どもの状況(年齢・発達の状況など)に応じて、個別的な計画の作成、見直しをしている	<input type="radio"/> 非該当
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	4. 指導計画を保護者にわかりやすく説明している	<input type="radio"/> 非該当
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	5. 指導計画は、見直しの時期・手順等の基準を定め、必要に応じて見直しをしている	<input type="radio"/> 非該当

評価項目3
 子どもに関する記録が行われ、管理体制を確立している 評点(〇〇)

評価	標準項目	
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	1. 子ども一人ひとりに関する必要な情報を記載するしくみがある	<input type="radio"/> 非該当
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	2. 指導計画に沿った具体的な保育内容と、その結果子どもの状態がどのように推移したのかについて具体的に記録している	<input type="radio"/> 非該当

評価項目4
 子どもの状況等に関する情報を職員間で共有化している 評点(〇〇)

評価	標準項目	
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	1. 指導計画の内容や個人の記録を、保育を担当する職員すべてが共有し、活用している	<input type="radio"/> 非該当
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	2. 申し送り・引継ぎ等により、子どもや保護者の状況に変化があった場合の情報を職員間で共有化している	<input type="radio"/> 非該当

サブカテゴリー3の講評

指導計画は、保育課程を踏まえ領域ごとにたてて、その都度客観的に反省、省察されます

自分で考え行動をするための方法として、野外活動、環境認識、地域とのかかわりや異年齢保育などがあり保育課程に明記されています。また、養護と教育の領域も子どもの発達ごとに保育の内容が示されています。指導計画は各クラスごとに年間指導計画、月間指導計画、週間指導計画、日案がたてられます。計画に対しては、その都度職員の間環境構成や援助が適切であったかを反省を含めて省察し、年間指導計画は4半期ごとに省察し次の期に生かしていきます。個別計画は0～2歳児でたてられています。また子どもの発達情報は児童票に記録されます。

昼礼で子どものエピソードを語り合い、日々情報共有を行っています

昼礼では、月間指導計画や子どもの個別記録、子どものエピソードなどを職員間で共有しています。昼礼は、週3回あるので、子どもの変化していく様子や子どもの絵や作品を材料に子どもの様子を検討することもあります。また、子どものそれぞれの場面でのエピソードを共有し、職員間で保育を語り合っています。その保育の語り合いがチームワークを作っています。日々の子どもや家庭の状況の変化は、職員連絡ノートやお迎え伝達ノートに記録し、全職員は随時目を通して確認しています。アットホームで少人数の園ならではの連携がとられています。

保育課程を保護者に配付し、園だよりで活動の報告をしています

保育課程を年度初めに全家庭に配付し、子どもの年齢ごとの保育内容を保護者に伝えています。また、基本保育活動として戸外活動の時間帯の目安やリズム体操、畑仕事などの内容も詳しく説明しています。そして、園だよりでそれらの活動の写真などで報告をしています。そこでは主に、衣食住の日常のことを自分でやり、学習していることを知らせています。ただ、園ではそれぞれの家庭の子育ての方針を尊重しており、家庭でもやってほしいということはなく、あくまで園での活動として説明をしています。

サブカテゴリー5		
5	プライバシーの保護等個人の尊厳の尊重	サブカテゴリー毎の標準項目実施状況 7/7
評価項目1 子どものプライバシー保護を徹底している 評点(〇〇)		
評価	標準項目	
● あり ○ なし	1. 子どもに関する情報(事項)を外部とやりとりする必要がある場合には、保護者の同意を得るようにしている	○ 非該当
● あり ○ なし	2. 子どもの羞恥心に配慮した保育を行っている	○ 非該当
評価項目2 サービスの実施にあたり、子どもの権利を守り、子どもの意思を尊重している 評点(〇〇〇〇〇)		
評価	標準項目	
● あり ○ なし	1. 日常の保育の中で子ども一人ひとりを尊重している	○ 非該当
● あり ○ なし	2. 子どもと保護者の価値観や生活習慣に配慮した保育を行っている	○ 非該当
● あり ○ なし	3. 虐待防止や育児困難家庭への支援に向けて、職員の勉強会・研修会を実施し理解を深めている	○ 非該当
● あり ○ なし	4. 子どもの気持ちを傷つけるような職員の言動、虐待が行われることのないよう、職員が相互に日常の言動を振り返り、組織的に防止対策を徹底している	○ 非該当
● あり ○ なし	5. 虐待を受けている疑いのある子どもの情報を得たときや、虐待の事実を把握した際には、組織として関係機関に連絡し、その後も連携できるような体制を整えている	○ 非該当
サブカテゴリー5の講評		
<p>発達に応じた子どもの羞恥心に配慮した環境の提供とプログラムを実施しています</p> <p>オムツ交換はトイレの交換台も使用して、周りから見られないようにしています。夏季の水遊びの際にも、玄関からの視線を遮るようプールへの動線にシートを張っています。3～5歳児の個室トイレには、扉が設置されています。このように発達によって生じる羞恥心に配慮をしています。さらに、5歳児は施設長より性教育のプログラムを聞いています。こうした取り組みは、自分を大切に自尊感情を育てることをねらいとして行い、子どもたちに命の大切さや生まれてきたことへの喜びを伝えています。</p> <p>人権のためのガイドラインがあり、価値観や生活習慣に配慮した保育を行っています</p> <p>法人作成の「児童・保護者の人権のためのガイドライン」に沿った保育実践が行われています。例えば、子どもの名前呼び方は、呼び捨ては禁止に、またあだ名は使用していません。子どもと職員が近い関係であっても、あくまでも子どもの人権尊重を重視して、人として将来を見据えたかかわりを大切にしています。また、保護者には当園の保育方針の理解を求めています。押しつけることはなく、その家庭の考えを尊重しています。保護者の都合による登園時間にも相談に応じるなど、保護者の価値観や生活習慣に配慮しています。</p> <p>気になる家庭があった場合は、子どもの最善の利益を考慮します</p> <p>気になる家庭があった場合は、虐待防止マニュアルに基づき昼礼や職員会議の場で、他の職員にも周知することになっています。そのうえで、日々の子どもの状態を確認して、各関係機関への情報提供を行い、その後の対応について連携をとるようにしています。施設長は毎年、虐待防止や育児困難家庭の支援に向けた研修を受講し、その内容を職員会議で報告しています。組織として子どもの最善の利益を考慮して保育に取り組んでいます。</p>		

サブカテゴリー6

6 事業所業務の標準化

サブカテゴリー毎の
標準項目実施状況

11/11

評価項目1

手引書等を整備し、事業所業務の標準化を図るための取り組みをしている

評点(000)

評価	標準項目	
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	1. 手引書(基準書、手順書、マニュアル)等で、事業所が提供しているサービスの基本事項や手順等を明確にしている	<input type="radio"/> 非該当
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	2. 提供しているサービスが定められた基本事項や手順等に沿っているかどうか定期的に点検・見直しをしている	<input type="radio"/> 非該当
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	3. 職員は、わからないことが起きた際や業務点検の手段として、日常的に手引書等を活用している	<input type="radio"/> 非該当

評価項目2

サービスの向上をめざして、事業所の標準的な業務水準を見直す取り組みをしている

評点(000)

評価	標準項目	
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	1. 提供しているサービスの基本事項や手順等は変更の時期や見直しの基準が定められている	<input type="radio"/> 非該当
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	2. 提供しているサービスの基本事項や手順等の見直しにあたり、職員や保護者等からの意見や提案、子どもの様子を反映するようにしている	<input type="radio"/> 非該当
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	3. 職員一人ひとりが工夫・改善したサービス事例などをもとに、基本事項や手順等の改善に取り組んでいる	<input type="radio"/> 非該当

評価項目3

さまざまな取り組みにより、業務の一定水準を確保している

評点(00000)

評価	標準項目	
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	1. 打ち合わせや会議等の機会を通じて、サービスの基本事項や手順等が職員全体に行き渡るようにしている	<input type="radio"/> 非該当
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	2. 職員が一定レベルの知識や技術を学べるような機会を提供している	<input type="radio"/> 非該当
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	3. 職員全員が、子どもの安全性に配慮した保育ができるようにしている	<input type="radio"/> 非該当
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	4. 職員一人ひとりのサービス提供の方法について、指導者が助言・指導している	<input type="radio"/> 非該当
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	5. 職員は、わからないことが起きた際に、指導者や先輩等に相談し、助言を受けている	<input type="radio"/> 非該当

サブカテゴリー6の講評

運営マニュアル、保育品質マニュアルに基づいて、職員は保育業務を行っています

運営面において衛生管理、危機管理、虐待対応や給食提供などのマニュアルが多岐にわたって整備されています。また、保育内容については全職員に保育品質マニュアルが配付されており、この中でも、けがや病気の対応、衛生管理については、対応方法をフローチャートにして掲載しています。これらのフローチャートは各部屋にも貼ってあり、職員はすぐに確認し、対応することができるようにしています。職員は、いつでも基本に立ち返り、保育業務を継続的に行っています。

サービスの基本事項は保護者アンケートや保護者の感想文をもとに見直しています

提供しているサービスの基本事項や手順の見直しにあたり、保護者や職員の意見を汲み取り反映させています。保護者の意見は、8月に実施する保護者アンケートで、また生活発表会や運動会などの行事の際の保護者の感想文で把握します。それらの意見をもとにサービス内容を改変しています。今年度は、職員の提案で遠足の行き先を変えたり、保護者の感想文から意向を汲んで生活発表会の会場を変えたりしました。

法人では職員参加型の研修会を実施し、必要な知識や技術を学べる機会を提供しています

法人全体で業務の一定水準を確保する取り組みを行っています。法人では、職員が日常業務や社会人として必要な知識や技術を学べるよう、状況に応じた研修を用意し、ビジネスマナーを身につけられるようにしています。また、全職員が参加する研修会も実施し、取り組んだ成果の発表などを行っています。今年度は、園内研修で取り組んだ「確認の合言葉は、一往復半」を研修会で発表しました。職員伝達を正確に行うための確認方法です。なお、日常のサービス提供の中で、指導が必要な若手職員の育成は、施設長や主任が中心に行っています。

Ⅲ サービスの実施項目(カテゴリ6-4)

		サブカテゴリ4	
サービスの実施項目		サブカテゴリ毎の標準項目実施状況	35/35
1 評価項目1 子ども一人ひとりの発達の状態に応じた保育を行っている			
		評点(000000)	
評価	標準項目		
● あり ○ なし	1. 発達の過程や生活環境などにより、子ども一人ひとりの全体的な姿を把握したうえで保育を行っている		○ 非該当
● あり ○ なし	2. 子どもが主体的に周囲の人・もの・ことに興味や関心を持ち、働きかけることができるよう、環境を工夫している		○ 非該当
● あり ○ なし	3. 子ども同士が年齢や文化・習慣の違いなどを認め合い、互いを尊重する心が育つよう配慮している		○ 非該当
● あり ○ なし	4. 特別な配慮が必要な子ども(障害のある子どもを含む)の保育にあたっては、他の子どもとの生活を通して共に成長できるよう援助している		○ 非該当
● あり ○ なし	5. 発達の過程で生じる子ども同士のトラブル(けんか・かみつき等)に対し、子どもの気持ちを尊重した対応をしている		○ 非該当
● あり ○ なし	6. 【5歳児の定員を設けている保育所のみ】 小学校教育への円滑な接続に向け、小学校と連携をとって、援助している		○ 非該当
評価項目1の講評			
<p>子どもの主体的活動を通し、自然や地域とかかわっています</p> <p>子どもが自分で遊びを選べるようおもちゃを配置していますし、遊びのコーナーも用意しています。週2回園バスで園の畑に出かけ、畑作業や動物の世話をしています。土いじりで虫を見つけ、帰園後に図鑑で調べています。今年度は畑で見つけたかめを連れて帰り、園で飼っているうちに「水道水では、かわいそう」と子どもから声があがり、畑に帰してあげました。自然体験の中で感じ、試し、考えることで主体的な活動につなげています。商店街ツアーを週1回行い、子どもたちはお店にインタビューをして、身の回りの社会に興味を広げています。</p> <p>異年齢のかかわりを通して年上にあこがれたり、思いやりの気持ちをはぐくんでいます</p> <p>保育室は0～2歳児室、3～5歳児室に分かれています。園全体で子ども同士のかかわりがあります。異年齢のグループは固定とせず、活動ごとに違う子どもたちとかかわっています。年齢の低い子どもは年上の子にあこがれ、「あんなりたい」「やってみたい」と思うようになります。年上の子は年下の子どもに対して自然と気を配るようになり、着替えを手伝ったり、配膳時にこぼした子どもの周りを拭いたりしています。やってもらったことは、大きくなったときに、また同じようにしてあげるなど思いやりの心の継承が見られます。</p> <p>子ども同士のトラブルは、決められた場所で話し合いをして解決をしています</p> <p>子ども同士のトラブルは、職員がすぐに止めるのではなく、双方の意見を聞き、あくまで子どもが考えるようにしています。年齢の高い子どもの場合は、玄関の絵本コーナーの丸テーブルで話し合うことにしています。職員はそばの事務コーナーで見守り、子どもたちで解決をして納得しています。また、ひっかきやかみつきは子どもの発達上に現れる特徴であることを、保護者懇談会などで保護者に説明をしています。ひっかきやかみつきがあったときは、職員は双方の気持ちに寄り添い処置をして、保護者にはその日のうちに報告をしています。</p>			
2 評価項目2 子どもの生活が安定するよう、子ども一人ひとりの生活のリズムに配慮した保育を行っている			
		評点(0000)	
評価	標準項目		
● あり ○ なし	1. 登園時に、家庭での子どもの様子を保護者に確認している		○ 非該当
● あり ○ なし	2. 発達の状態に応じ、食事・排せつなどの基本的な生活習慣の大切さを伝え、身につくよう援助している		○ 非該当
● あり ○ なし	3. 休息(昼寝を含む)の長さや時間帯は子どもの状況に配慮している		○ 非該当
● あり ○ なし	4. 降園時に、その日の子どもの状況を保護者一人ひとりに直接伝えている		○ 非該当

評価項目2の講評

職員の見守りと異年齢でのかかわりで、基本的生活習慣が身につけていきます

保育課程は主体的に考えて行動ができる子どもの育成を旨として策定しています。従って生活習慣も発達に応じて、子どもがやってみて、そのうえでできないところは「手伝って」と、子どもたちが態度や言葉で示せるようにしています。3～5歳児は異年齢保育の中で、年下の子は年上子の様子を見たり、手伝ってもらったりして生活習慣を身につけていきます。こうした活動で、毎日の給食のしたくや食事のマナー、食後のいす拭きなども徐々に身に付くようになります。また雑巾絞りや雑巾がけもして、生活力を身につけられるようにしています。

睡眠は子ども一人ひとりの状況に応じて柔軟に対応しています

午睡時は、0、1歳児には一人ひとりの状況に応じて午前寝や夕方の睡眠ができるように静かで安全な場を用意して対応しています。眠れない子どもに対しては、無理に睡眠を勧めることはせず、静かな遊びをしながらも、ほかの子の睡眠の邪魔にならないように過ごしています。子ども自身が自分の身体の状態を自分で確認し、周りのことも考えながら過ごすことができるようにしています。5歳児は就学に向けて午睡はとらないようにしています。

連絡帳機能を備えたアプリや3分間対応で、園での子どもの様子を保護者に伝えています

その日の活動のエピソードや、子どもたちが頑張っていて取り組んでいることを、連絡帳や連絡帳機能を備えたアプリを使って保護者に伝えています。睡眠チェックの状態や献立と活動内容は写真も配信しています。さらに法人全体で「3分間お迎え対応」に取り組み、子どもの送迎時には積極的に保護者とコミュニケーションを図り、子どものその日の遊びや生活の様子を伝えています。子どもの発達状況によっては、箸やトイレトレーニングについて、保護者と連携して取り組んでいます。

3 評価項目3

日常の保育を通して、子どもの生活や遊びが豊かに展開されるよう工夫している

評点(〇〇〇〇〇〇)

評価	標準項目	
● あり ○ なし	1. 子どもの自主性、自発性を尊重し、遊びこめる時間と空間の配慮をしている	○ 非該当
● あり ○ なし	2. 子どもが、集団活動に主体的に関われるよう援助している	○ 非該当
● あり ○ なし	3. 子ども一人ひとりの状況に応じて、子どもが言葉による伝え合いを楽しみ、言葉に対する感覚を養えるよう配慮している	○ 非該当
● あり ○ なし	4. 子どもが様々な表現を楽しめるようにしている	○ 非該当
● あり ○ なし	5. 戸外・園外活動には、季節の移り変わりなどを感じとることができるような視点を取り入れている	○ 非該当
● あり ○ なし	6. 生活や遊びを通して、子どもがきまりの大切さに気付き、自分の気持ちを調整する力を育てられるよう、配慮している	○ 非該当

評価項目3の講評

遊び込める室内環境作りに配慮し、自分で考えて行動できるよう援助しています

子どもの発達に合わせておもちゃの入れ替えを行っています。職員は子どもを見守り、子どもたちが遊びたいものを自分で選んだり、友達と一緒に遊んだり、一人用の机でパズルや構成遊びに集中したりできるよう援助しています。ごっこ遊び用の小道具、テーブルやドレッサーなどを職員が木工で手作りしています。玄関のボルダリングも手作りで、年上の子どもの登る姿を見て年下の子どものあこがれ挑戦しています。子どもたちは自分の力を知って高さを自分で決めています。今回は少しでも高いところまで挑戦する気持ちを育てています。

日ごろの人とのかかわりを通して、子どもたちはコミュニケーション力を養っています

保育方針に掲げられている「人対人コミュニケーション」の実現に向け、子どもたちは職員やかかわる多くの人たちと自由に会話できるよう配慮しています。0歳児からわらべうたや歌遊びを毎日継続して言葉の持つおもしろさを体験しています。また、畑までの往復で乗る園バスの中では、野菜クイズやごはんクイズなどを楽しみ、言葉の意味やおもしろさを感じられるようにしています。大きくなればなるほど、話し合いや発表をする機会も豊富にあります。また商店街ツアーも商店の方々といさづを交わすことで、コミュニケーション力を養っています。

畑作業での気づきから物の多様性に目を向けるようになるなど、視野を広げています

週2回の畑作業から、子どもたちは野菜が生長する過程で変化することに気づきました。最初のトマトは緑色であることを発見し、ほかの野菜も大きささまざまな形の違いや味の違いがあることに気づくようになりました。こうした体験で学んだことは、子どもたちの身体に刻まれ、絵画で表現することなどで感覚や視野を広げています。食べず嫌いの子どもの「食べてみようかな」と勇気を出して食べるきっかけになっています。また、椅子取りゲームなどでは、勝つ人もいれば負ける人もいることに気づき、負けないうにがんばる気持ちを育てています。

4 評価項目4 日常の保育に変化と潤いを持たせるよう、行事等を実施している		評点(〇〇〇)
評価	標準項目	
● あり ○ なし	1. 行事等の実施にあたり、子どもが興味や関心を持ち、自ら進んで取り組めるよう工夫している	○ 非該当
● あり ○ なし	2. みんなで協力し、やり遂げることの喜びを味わえるような行事等を実施している	○ 非該当
● あり ○ なし	3. 子どもが意欲的に行事等に取り組めるよう、行事等の準備・実施にあたり、保護者の理解や協力を得るための工夫をしている	○ 非該当
評価項目4の講評		
<p>行事は日々の活動の延長と位置付け子どものやりたいことを話し合っ取り入れていきます</p> <p>職員は日ごろの子どもたちの様子を見て、子どもたちの遠足の行き先などがその時々の子どもの興味に合うように、会議等で話し合っ決めていきます。また、子どもたちは、日ごろの保育活動の中で、友だちと協力することを自然に学んでいきます。園の行事は、日々の活動の延長として位置付け、そのために特別な練習や訓練はしていませんが、子どもたちとやりたいことを話し合い行事の中に取り入れていきます。運動会では、とび箱や縄跳び、踊り、側転をやりたいなどの希望が出ましたので、種目に取り入れしました。</p> <p>5歳児は各行事でリーダーシップを発揮して自信を持ち達成感を味わっています</p> <p>運動会では、5歳児は開会の言葉を発したり、年下のクラスの競技の手伝いをしたりしています。生活発表会でも、開会の言葉や閉会の言葉を発する役割があります。どちらの行事も年長児としての責任を感じることでできる行事となっています。また、生活発表会では、今年度はリサイクルやエコロジーの活動を清掃車見学の際に体験したことを発表しました。子どもたちは体験を通して友だちと共通認識を深め、何をどのように発表するのか、その過程を大切にすることで、子どもたち全体で達成感を味わえるようにしています。</p> <p>園の行事に保護者の理解や協力が得られるようさまざまな工夫をしています</p> <p>園の行事日程は園だよりなどを通してあらかじめ保護者に伝え、保護者が予定を立てやすいようにしています。さらに個々の行事の開催前には、行事の目的、内容を明記した行事おたよりを配付して、保護者の理解や協力を得られるよう努めています。生活発表会は、今年度は小学校の体育館を借りて行ったため、子どもたちの祖父母も観覧できて好評でした。子どもたちは高い舞台上、はりきって発表をしました。行事後の保護者アンケートでは、「堂々とセリフを言ったり、歌ったりして成長を感じられて良かった」との感想が寄せられました。</p>		
5 評価項目5 保育時間の長い子どもが落ち着いて過ごせるような配慮をしている		評点(〇〇)
評価	標準項目	
● あり ○ なし	1. 保育時間の長い子どもが安心し、くつろげる環境になるよう配慮をしている	○ 非該当
● あり ○ なし	2. 保育時間が長くなる中で、保育形態の変化がある場合でも、子どもが楽しく過ごせるよう配慮をしている	○ 非該当
評価項目5の講評		
<p>保育時間の長い子どもたちが安心して過ごせるよう配慮しています</p> <p>延長保育の時間帯でも、子どもたちが安心してくつろげるよう配慮しています。18時15分から18時30分までの間は1歳児室で合同保育を行っています。ソファなどでごろんと横になるスペースも用意しています。3～5歳児には遊びたいおもちゃを提供して遊べるようにしています。また、0歳児で眠くなった子どもには、0歳児室で入眠する環境を整えています。19時に夕食の提供があり、子どもたちの楽しみにもなっています。保護者には職員による3分間お迎え対応でその日の子どもの活動の報告をしています。</p> <p>延長保育の時間でも、自分で時間の使い方を工夫し楽しめるような環境構成をしています</p> <p>延長の保育時間は、0～5歳児の異年齢児のかかわりも見られ、少人数でアットホームな雰囲気の中で過ごしています。ゆっくり絵本を読みたい子どもは絵本コーナーで自分の好きな絵本を見ることができるようになっていますし、ちょう結びを練習したい子どもには、ひもがついた練習用の板で遊べるようにして、子ども一人ひとりが自分の好きな遊びができる環境にしています。園全体が子どもの居心地の良い場所であり、子どもは自分の意思を伝えて自分で自分の生活を作れるよう配慮しています。</p>		

6 評価項目6 子どもが楽しく安心して食べることができる食事を提供している		評点(0000)
評価	標準項目	
● あり ○ なし	1. 子どもが楽しく、落ち着いて食事をとれるような雰囲気作りに配慮している	○ 非該当
● あり ○ なし	2. メニューや味付けなどに工夫を凝らしている	○ 非該当
● あり ○ なし	3. 子どもの体調(食物アレルギーを含む)や文化の違いに応じた食事を提供している	○ 非該当
● あり ○ なし	4. 食についての関心を深めるための取り組み(食材の栽培や子どもの調理活動等)を行っている	○ 非該当

評価項目6の講評

子どもたちは畑仕事で収穫した野菜や法人の田んぼで収穫した米を食べています

子どもたちは週2回の畑仕事で収穫した野菜や法人の田んぼで収穫した米を食べています。子どもたちは土づくりや水やり、雑草抜きなどの畑仕事を体験し、収穫する喜びを味わっています。このほか、ヤギの飼育で作った堆肥を野菜作りに生かしていくことを体験しています。この冬は積雪があり、子どもたちは自分たちで植えたはくさいの生長を心配していました。幼少期ならではのゆったりとした時間の流れやその中での自然体験が子どもたちの心を豊かにしています。

栄養士や職員により楽しい食事時間の提供があります

「美味しく楽しく食事を摂る」「食欲がある」「旬を味わう」「国内産・高品質の食材」「日本人らしい食事」を大切に、献立表と給食だよりを作成して、前月末に各家庭に配付しています。食事の時には栄養士は子どもたちの喫食状況を見て、野菜の切り方や量の工夫をしています。3～5歳児は子どもといっしょに給食を食べる職員もいて、楽しい語らいの場を演出したり、正しい食事マナーが身につくようにしています。野菜が食べられなかったという子どもが、数か月でお代わりをするほど好き嫌いがなくなったという事例もあります。

食に関するさまざまな体験を通して、食べることに興味関心を広げています

月1回のクッキングを行い、畑で収穫された野菜を使ったり、いわしの手開きをしたりしています。また、しそが採れすぎたときには、子どもたちから「てんぷらにして」と調理方法のリクエストがありました。5歳児は食事の準備も手際よく行っています。職員は、子どもがやりやすいよう工夫をし、食器の片付けや椅子拭きもできるように援助しています。これらのさまざまな体験など食に関する興味関心を広げられるような取り組みを積極的に進めています。

7 評価項目7 子どもが心身の健康を維持できるよう援助している		評点(000)
評価	標準項目	
● あり ○ なし	1. 子どもが自分の健康や安全に関心を持ち、病気やけがを予防・防止できるように援助している	○ 非該当
● あり ○ なし	2. 医療的なケアが必要な子どもに、専門機関等との連携に基づく対応をしている	○ 非該当
● あり ○ なし	3. 保護者と連携をとって、子ども一人ひとりの健康維持に向けた取り組み(乳幼児突然死症候群の予防を含む)を行っている	○ 非該当

評価項目7の講評

子どもたちが自身で身を守れるようにする取り組みがあります

保育理念にある「にんげん力」を念頭に置き、自分で自分の身を守り、考えることで、生きる力の基礎作りを大切に保育を行っています。裸足保育や戸外遊び、畑作業、雑巾絞り、雑巾がけ、リズム体操などは、体力作りや手指の動き、運動感覚などの発達や、スムーズな身のこなしなどにもつなげています。園では衛生指導も行い、日ごろから手洗いうがいを励行し、プールでの衛生や咳エチケットなど、季節によって流行する病気についても子どもたちに伝えるようにして、健康に対する子どもたちの意識を高めています。

職員全体で、子ども一人ひとりの健康管理に努めています

内科健診、歯科健診を実施しています。また、夏季には熱中症対策や虫除けスプレーの散布などを行っています。災害時に備え、火災・地震訓練や不審者対応訓練も行っています。感染症対策として、法人で研修を受講後、看護師による嘔吐処理対応訓練も行われ、職員全員で子どもの命を守る対策がとられています。園での投薬については、誤飲防止対策の流れに従って薬の受け渡しをしています。アレルギーのある子どもには除去食を提供し、誤食防止策としてトレーの使用、食器の色を変える、専用機の使用、職員によるダブルチェックなどを行っています。

保健だより、掲示物などで保護者と連携し、子どもの健康維持を図っています

保健だよりを月1回発行して保護者に配付しています。園での動きやすい服装、薄着などで肌感覚機能の向上や、インフルエンザ対策のための手洗いうがいの励行、その時々での予防接種など、季節に合った内容を掲載しています。SIDS(乳幼児突然死症候群)対策として行っている睡眠チェックの状況は、スマートフォンへの配信により保護者も確認できるようにして、保護者の意識も高めています。感染症の情報は、看護師により掲示し保護者も参考にしています。このように園と保護者との連携で子どもたちの健康維持に取り組んでいます。

8 評価項目8

保護者が安心して子育てをすることができるよう支援を行っている

評点(〇〇〇〇〇)

評価	標準項目	
● あり ○ なし	1. 保護者には、子育てや就労等の個々の事情に配慮して支援を行っている	○ 非該当
● あり ○ なし	2. 保護者同士が交流できる機会を設けている	○ 非該当
● あり ○ なし	3. 保護者と職員の信頼関係が深まるような取り組みをしている	○ 非該当
● あり ○ なし	4. 子どもの発達や育児などについて、保護者との共通認識を得る取り組みを行っている	○ 非該当
● あり ○ なし	5. 保護者の養育力向上のため、園の保育の活動への参加を促している	○ 非該当

評価項目8の講評

連絡帳機能を備えたアプリを活用して、園と保護者が情報を交換しています

今年度から連絡帳機能を備えたアプリを導入し、園での子どもの様子を保護者のスマートフォンに配信できるようにしました。導入当初は使い勝手がわからないなどの混乱が生じましたが、現在は、子どもたちのその日の活動の写真を楽しみに活用されています。離乳食を食べる様子やその日の食事メニュー、睡眠チェックの結果も個別に配信しています。このアプリが導入されてから、以前から園で実施していた午睡時の睡眠チェックを初めて知った保護者もいて、「一人ひとりに対してやってくれているんですね」と安心の声も聞かれました。

保護者同士の交流の会を援助しています

アットホームな園の雰囲気であるため、園の保護者参加行事では積極的な参加があり、保護者同士が交流しやすいよう会場や座席などに配慮をしています。また、懇談会では保護者主導の会の役員を選出する時間を設け、運営にあたり、必要なことは園が協力しています。今年度は保護者から子どもたちといっしょに何かやってみたいという要望を受けました。そこで「どろんこサポーターズ」と名づけた保護者任意の団体を結成し、もちつき大会やハロウィンのイベントを開催しました。土曜日に開催し、ほとんどの親子が参加して交流を深めました。

保護者が懇談会に出席しやすい工夫や配慮があります

懇談会は年2回開催しています。保護者の就労への配慮をし、できる限り参加しやすいように平日18時から19時までの時間帯で行っています。その間、子どもたちは別の部屋で保育を行い、遊んだりおやつ程度の物を食べたりして待っています。懇談会では、子どもたちの好きな歌や絵本を紹介したり、写真やビデオで保育の様子を見てもらったりして、今後の育ちの見通しなどを保護者にもわかりやすく伝えています。保護者から意見を聞く機会もあり、情報交換のできる有意義な会として、参加率も高くなっています。

9 評価項目9 地域との連携のもとに子どもの生活の幅を広げるための取り組みを行っている		評点(〇〇)
評価	標準項目	
● あり ○ なし	1. 子どもが地域の資源を利用し、多様な体験や交流ができるような機会を確保している	○ 非該当
● あり ○ なし	2. 園の行事に地域の人々の参加を呼び掛けたり、地域の行事に参加する等、子どもが職員以外の人と交流できる機会を確保している	○ 非該当
評価項目9の講評		
<p>子どもたちは地域の人々との交流の中から積極的にあいさつができるように育っています</p> <p>子どもたちは地域の中でさまざまな交流をしています。「商店街ツアー」では、子どもたちはお店の人にあいさつをしたり、仕事の内容を質問をしたりして交流をしています。月1回の「おふろの日」には銭湯に行っています。また、お正月には手作りの大きな年賀状を作り、八百屋さんや交番、パン屋さんなどに渡しに行きました。こうした地域の方々から、「おりこうさんに待てるようになったわね」など、声をかけてもらっています。日常的な交流から、子どもたちは自分から積極的にあいさつをするなど主体的なかかわりが見られるようになっていきます。</p> <p>青空保育の交流や小学校訪問などで、子どもたちが広い視野を持てるようにしています</p> <p>地域子育て事業の青空保育は園が発行する子育て情報紙にも掲載して、地域の子育て家庭の参加を呼びかけています。また、近隣の保育園から焼き芋会に招かれたり、就学に向けて小学校との交流を行ったりしています。年齢の近い子どもたちからの刺激もあり、特に就学を前にした5歳児の子どもたちは、いつもと違った一面を見せたり、さらに就学への期待を高めています。また、高齢者施設のと交流の機会もあり、子どもたちは歌やわらべうたの披露をしています。地域のさまざまな人たちとのかかわりで、広い視野を持てるようにしています。</p>		

[ver.2]

調査対象

保育園を利用している43世帯を対象に調査を実施しました。在園児は50名で、兄弟姉妹が同園に通う世帯は年齢の一番低い子どもについて回答してもらいました。

調査方法

アンケート調査は無記名方式で、配付は施設を通じて利用者へ手渡し、回収は保護者から直接評価機関へ郵送する方法によりました。調査結果は選択回答だけでなく、記述式の回答についても匿名性に配慮してまとめ、保育園に報告しました。

利用者総数
利用者家族総数(世帯)
共通評価項目による調査対象者数
共通評価項目による調査の有効回答者数
利用者家族総数に対する回答者割合(%)

利用者総数	50
利用者家族総数(世帯)	43
共通評価項目による調査対象者数	43
共通評価項目による調査の有効回答者数	21
利用者家族総数に対する回答者割合(%)	48.8

利用者調査全体のコメント

保育園に対する総合的な感想は、「大変満足」が4人(19%)、「満足」が14人(66.7%)で「満足」以上の回答は合計18人(85.7%)でした。

自由意見には、「毎日子どもの様子を詳しくお話して下さるので、先生とお話の時間がとても楽しみです。子どもの少しの変化にも気付いてくださり、安心しています」「子どもを見てみると、先生方が一生懸命に愛情をそそいでくださっていることがわかります」「子どもが先生を信頼しているのが言動から伝わり感謝しています」「畑での作業など土とかかわる行事がある」「いろいろな年齢の子どもと接することが出来るのが良い」など園への感謝の声が見られました。

項目別に見ますと「保育所での活動は、子どもが興味や関心を持って行えるようになっているか」で95.2%、「保育所での活動は、子どもの心身の発達に役立っているか」「提供される食事」「保育所の生活で身近な自然や社会と十分関わっているか」「子どもの気持ちを尊重した対応」で90.5%の保護者が「はい」と回答し、とても高い満足度がうかがえます。また、「安全対策が十分取られていると思うか」は、ほかの項目に比べると「はい」の回答率が低くなっています。

利用者調査結果

共通評価項目	実数			
	はい	どちらとも いえない	いいえ	無回答 非該当
1. 保育所での活動は、子どもの心身の発達に役立っているか	19	2	0	0
「はい」が90.5%、「どちらともいえない」が9.5%でした。 自由意見には、「子どもの世界が広がった。先生や他クラスとのふれあいで子どもが成長している。先生や友達の言動をまねして、いろんなことを覚えている」「小さい園ながら、体を動かせる工夫をしてくれているので、体力もついていて助かります」などの声がありました。				
2. 保育所での活動は、子どもが興味や関心を持って行えるようになっているか	20	1	0	0
「はい」が95.2%、「どちらともいえない」が4.8%でした。 自由意見には、「家庭ではできないことにたくさん挑戦させてもらっている。家庭で、子どもがつかない言葉ながらあったことを話しており、楽しんでいると感じる」などの声がありました。				
3. 提供される食事は、子どもの状況に配慮されているか	19	2	0	0
「はい」が90.5%、「どちらともいえない」が9.5%でした。 自由意見には、「少しずつでも食べられるよう工夫していただいている」などの声がありました。				

4. 保育所の生活で身近な自然や社会と十分関わっているか	19	2	0	0
「はい」が90.5%、「どちらともいえない」が9.5%でした。 自由意見には、「畑など、自然とふれ合う場所につれて行ってくれるのは良い」「園のおかげで集団に慣れることができた」「社会科見学のような活動がたくさんある」などの声がありました。				
5. 保育時間の変更は、保護者の状況に柔軟に対応されているか	15	5	1	0
「はい」が71.4%、「どちらともいえない」が23.8%、「いいえ」が4.8%でした。 自由意見には、「いつも助かっていますが、負担をあまりかけたくないとも思っています」「急な迎えの変更にも対応してくれる」などの声がありました。				
6. 安全対策が十分取られていると思うか	6	11	4	0
「はい」が28.6%、「どちらともいえない」が52.4%、「いいえ」が19.0%でした。 自由意見には、「避難訓練の具体的な方法や、緊急時の対処例などを知れるとありがたい」などの声がありました。 また、園からの伝達面でいくつかの意見が寄せられていました。				
7. 行事日程の設定は、保護者の状況に対する配慮は十分か	17	3	1	0
「はい」が81.0%、「どちらともいえない」が14.3%、「いいえ」が4.8%でした。 自由意見の記述はありませんでした。				
8. 子どもの保育について家庭と保育所に信頼関係があるか	15	3	3	0
「はい」が71.4%、「どちらともいえない」が14.3%、「いいえ」が14.3%でした。 自由意見には、「細やかな対応で、忙しい時も笑顔なのがありがたい。子どもの個性を尊重してもらえていると感じている」「信頼関係はあると思いますが、時間がないので、定期的に面談などお願いしたい」などの声がありました。				
9. 施設内の清掃、整理整頓は行き届いているか	15	6	0	0
「はい」が71.4%、「どちらともいえない」が28.6%でした。 自由意見には、「手づくり感があふれててよいと思う」「設備自体が古いため不十分な部分もあるが、しかたがない」などの声がありました。				
10. 職員の接遇・態度は適切か	13	8	0	0
「はい」が61.9%、「どちらともいえない」が38.1%でした。 自由意見には、「笑顔の先生が多いのがとてもよいと思う。子どもが先生たちを好きなのがよくわかる」「どの先生方も元気いっぱい明るく迎えて下さり、親切でいいねいに対応して下さる」などの声がありました。 その一方で、「重大なことは悪いことも含め、言葉で説明してほしい」という意見もありました。				

11. 病気やけがをした際の職員の対応は信頼できるか	18	2	1	0
<p>「はい」が85.7%、「どちらともいえない」が9.5%、「いいえ」が4.8%でした。 自由意見には、「家庭ではつき着せすぎてしまったり、少しの風邪を重くみたりしがちなので、冷静な意見をもらえて助かっている」などの声がありました。 その一方で、「ケガをしてしまうのは仕方がないが、どうやってケガをしたのか職員が知らないことがあったので、見ていていただけるとありがたい」という意見もありました。</p>				
12. 子ども同士のトラブルに関する対応は信頼できるか	14	6	1	0
<p>「はい」が66.7%、「どちらともいえない」が28.6%、「いいえ」が4.8%でした。 自由意見には、「子ども自身が先生を信じていると感じる。ダメなことはダメ、一人の人間として接してくれているように思う」などの声がありました。 その一方で、「まだ小さいので、そこまでのトラブルは経験していませんが、きちんと双方に正確な情報、いきさつ、子ども同士の理由など伝えてほしい」という意見もありました。</p>				
13. 子どもの気持ちを尊重した対応がされているか	19	2	0	0
<p>「はい」が90.5%、「どちらともいえない」が9.5%でした。 自由意見には、「気持ちを尊重しつつうまく誘導もしてもらっている。子どもの話に先生方が耳をかたむけてくれていると思う」「接し方が少し感情的かなと感じたことがあり、先生によってさまざまだと思いますが、基本的にはみなさんとても温かく接して下さいます」「子どもの個性にあわせて先生が工夫されていると感じる」などの声がありました。</p>				
14. 子どもと保護者のプライバシーは守られているか	18	3	0	0
<p>「はい」が85.7%、「どちらともいえない」が14.3%でした。 自由意見には、「家庭の事情について配慮いただいている」などの声がありました。</p>				
15. 保育内容に関する職員の説明はわかりやすいか	12	8	1	0
<p>「はい」が57.1%、「どちらともいえない」が38.1%、「いいえ」が4.8%でした。 自由意見には、「毎日のおたより、説明会などフォローしてもらっている。忙しいのに家庭と園で子どもを見守ろうという姿勢を感じる」などの声がありました。 その一方で、「保育者が理解していても、保護者は必要性を理解できないことがある」という意見もありました。</p>				
16. 利用者の不満や要望は対応されているか	7	9	5	0
<p>「はい」が33.3%、「どちらともいえない」が42.9%、「いいえ」が23.8%でした。 自由意見には、「不満がない」「要望をあまり伝えたことがない」などの声がありました。 その一方で、「本部の指示待ちと言われることがある」という意見もありました。</p>				
17. 外部の苦情窓口（行政や第三者委員等）にも相談できることを伝えられているか	8	9	4	0
<p>「はい」が38.1%、「どちらともいえない」が42.9%、「いいえ」が19.0%でした。 自由意見には、「説明会などしてくれる」などの声がありました。 また、「あまり必要性を感じたことがないので、情報が入らないだけかもしれません」という意見もありました。</p>				

株式会社 学研データサービス
(福祉サービス第三者評価機関)

〒141-0031 東京都品川区西五反田8-1-13
TEL03-5436-8191 FAX03-5487-8810

●評価機関認証

東京都	認証 機構05-149
神奈川県	認証 第9号
横浜市	指定 第9号
横浜市	指定管理者第三者評価機関認定18-09
川崎市	評価手法使用承諾
埼玉県	認証 埼玉2004003
千葉県	千葉県健指指令第2995号-10
群馬県	認証 評推進ぐ機関19-02